

2018年秋深し号

西の京・都和のはな便り



↑→3 階入所フロアでは、「NPO 京ものづくり塾・和らいふ」がボランティアで来訪して「友禅体験教室」を開催。職人さんが丁寧に援助くださり、立派な作品を皆さん作っていました。(T)

季節の移り変わりを楽しんでいます

近所の安井幼稚園から23名の園児さんが遊びに来てくれました。『とんぼのめがね』の合唱、オセロやトランプ、坊主めくり、お絵描き等・・・。「おばあちゃん一緒にやろう！」と子どもたちから誘って一緒に遊んでいました。(M) →

↑5 階入所フロアで「流しそうめん」イベント開催。竹が組み立てられるのを眺めながら「懐かしいね。」と。色とりどりのにぎやかなお素麺が出来上がりました。(U)



↓3000 人を超える参加で大盛況だった第 25 回洛中・洛西健康まつり。西の京の職員も、「玉コンニャク」の模擬店を出店。「味が浸み込んでおいしい」と、リピーター買いが続出。(T)



↑入所者のみなさんと、屋上のコスモスを見にお散歩です。台風 21 号の暴風にも耐えて見事に咲いた屋上のコスモスたち。日頃園芸ボランティアさんが丹念に育てて下さっている賜物です。(T)

保健福祉の会は今年 20 周年を迎えました

1998 年 4 月 1 日京都市に認可され、20 周年を迎えました。当法人をご支援・ご指導をいただきましたすべての皆様に御礼を申し上げます。

設立当初は、京都保健会より白い鳩保育園、洛西保育園、あらぐさ保育園の3か所の贈与を受けスタートしました。地域の要求や関係者の援助を受けて、現在保育園4か所、介護事業4か所、児童支援は3か所と事業を拡大、常勤・非常勤合わせ職員は300人を超えました。

乳児から人生を終えるその時まで、その人らしく生きるために一生に関わる事業を運営している法人です。社会福祉は、人と人とのかかわりの中で成り立つ事業であることを実感しています。

社会情勢としては、団塊の世代は後期高齢者を迎つつあり、少子化には歯止めがきかず、高齢者医療の2割3割負担、生活保護費の削減、格差社会、子どもの貧困、労働力不足、非常勤労働者増と厳しい状況にあります。

法人運営を巡っても、2018年度のトリプル改定（医療・介護・障がい）、新



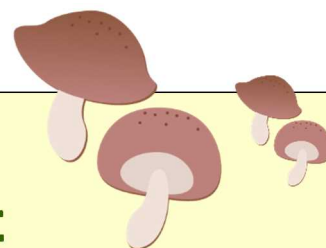
社会福祉法人
保健福祉の会理事長
上田 裕子



保育制度、社会福祉法の改正と、今後の法人のあり方を左右する制度改変が相次いでいます。

激動する情勢の中ですが、福祉に夢をもって共に働き、人間としての成長が得られる職場でありたいと思います。そのために職員とともに知恵を出し合い、より良い制度となるように行動し、年齢を重ねてもその人らしく、笑顔で豊かに生活が送れるよう想像力を働かせ、相手の立場に立った福祉を実践するために、学び実践を積み重ねていきたいと思います。

今後とも、私どもの事業所をご利用下さっている皆様、地域、関係者団体の皆様のご指導・ご鞭撻を賜りながら、運営していきます。今後ともよろしくお願いいたします。



創立 20 周年記念講演会

テーマ「発達の豊かさを問いつづけるために ～自然・生活・集団のねうち～」

講師 白石 正久 氏（龍谷大学 社会学部教授）

日時 2018年 12月 2日（日）午前10時開始（受付9時30分～ 終了12時予定）

会場 花園大学 無聖館ホール

申込 保健福祉の会（TEL 075-841-8160 FAX 075-841-8164）

申込〆切 11月20日（火）定員になり次第〆切させていただきます。

西の京のボランティアさんを紹介します



通所リハビリ
整容ボランティア
高橋さん

毎週木曜日に、入浴後のドライヤー・整髪ボランティアに来て下さってます。いつもきれいなお花や季節の植物を持ってきて下さり、デイケアの中がぱあっと明るくなります。

太子道診療所で、都和のはなのボランティア募集のビラを見たのがきっかけ。今年で何と7年目になります。

「初めは、ドライヤー中に利用者さんに怒られたことも…。色々教えてもらって、なんとなくいついた感じです（笑）」と。

「今後も、皆さんとより良いコミュニケーションをとっていきたいです。」と高橋さん。頼りになる存在です。(N)

排泄後の清拭等に使う布を、古着や布等をハサミで切って作るボランティアさんです。

中には、継続10年目という方も。難易度の高いファスナー等がついている衣類も、手慣れた様子で切り分けられ、あっという間に山積みのきれいな清拭布に変えて下さっていました。(N)



清拭布ボランティアの皆さん

敬老会 at 都和のはな



9月17日、特養とグループホーム合同で敬老会のお祝いをしました。

都和のはなには、100歳以上の方は何と6名。そんなお元気な入居者様を、学生サークル「京炎そでふれ」華麗な踊りを披露。入居者様達にもできる踊りの振り付けを教えてくれて、一緒にみんなで歌って踊りのひと時を過ごしました。

今年は地震や台風と自然災害に悩まされていますが、それにもめげずにみんなで来年お祝い出来るように頑張っていきたいと思います。(W)



認知症実践者研修を終えて



6月～1か月間、認知症介護実践者研修を受講しました。

「認知症」の基本知識から認知症介護の歴史に至るまで学び直し。介護福祉士の専門学校で学んだ事を再認識させられたり、最新知識を学んだりと自分の自信にも繋がる研修でした。

「職場実習」では、自施設の入居者様を対象に演習。センター方式シートに基づき、その人の歴史（生い立ち）が今の生活にどのような影響があるのか理解し分析した上で共感し、その人の本質を探るという事がとても重要であると知りました。認知症ケアというものの見方や姿勢を考えさせられ、とても身になる研修でした。(W)

新入職員を紹介します



みしま あやの
三島 綾乃

特養都和のはな
介護福祉士

- Q. 介護で心掛けていることは？
「個別ケア」・「入居様様の心地良さ」です。
- Q. どんな性格ですか？
マイペースだと思います。
- Q. この仕事に就いたきっかけは？
前職に就いていた時に高齢の方と接する機会があり興味を持ったからです。
- Q. 今後の抱負を聞かせください。
模索中です。
- Q. 休日の過ごし方は？
お家でゴロゴロ。 (K)



インフルエンザ、ノロウイルスが 流行る季節です！

面会の際は、
手指のアルコール消毒・マスク着用に、
ご協力お願いします。(館内に設置)発熱
や咳等風邪症状がある場合は、面会を
ご遠慮くださいますよう、ご協力をお願い
します。

西の京の昼ごはん

10月の行事食～ハロウィン

南京の
クリーム
シチュー



昨年好評だった南瓜のクリームシチューが再登場です。甘みがあり食べやすいため、ほとんどの方が完食されました。せっかくなので利用者様がリハビリで作成されたランチョンマットに、家族様から頂いたハロウィンモチーフのグッズと一緒に置いてパチリ☆(Y)

通所リハ・クッキング～南京まんじゅう



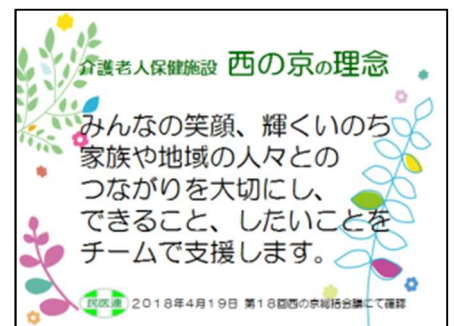
昨年好評だった「南瓜まんじゅう作り」を今年も行いました。裏ごしした南瓜を練り込んだふわふわの生地の中にはあま～いあんこ。彩りもきれいで目にも楽しい一品です。(M)



施設内でも感染予防研修

「左の写真」、何かと言つと、
ノロ・ウイルスを疑う嘔吐があつた時に、感染を拡げないためにスムーズに嘔吐物を片付けるための演習場面です。

流行期に向け、京都民医連中央病院から感染管理の認定看護師さんに来てもらい、職員研修を行っています。(T)



↑4月に新しく策定した西の京の理念です